

平成30年度

富山県東部消防組合一般会計
決算審査意見書

富山県東部消防組合監査委員

令和元年 6 月 27 日

富山県東部消防組合
管理者 村椿 晃 様

富山県東部消防組合
監査委員 水 野 勝 行

監査委員 森 弘 秋

平成30年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された平成30年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類について審査したので、その結果について意見を提出します。

平成30年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見

1 審査の対象

(1) 歳入歳出決算書

平成30年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書

(2) 付属書類

平成30年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

平成30年度 富山県東部消防組合一般会計実質収支に関する調書

平成30年度 富山県東部消防組合一般会計財産に関する調書

2 審査の期日と場所

期 日 令和元年6月27日

場 所 富山県東部消防組合消防本部 2階会議室

3 審査の方法

審査は、平成30年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、収支月計表、現金出納簿並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

5 決算の概要

平成30年度の一般会計の決算額は、予算総額1,255,657,000円に対し、歳入1,255,545,633円（予算対比100.0%）、歳出1,214,334,017円（予算対比96.7%）であり、差引形式収支額は41,211,616円である。前年度決算額と比較して歳入で34,528,184円の増、歳出で29,379,629円の増となっている。

この結果、歳入歳出差引残額は41,211,616円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支41,211,616円の黒字となった。

なお、当年度実質収支41,211,616円から前年度実質収支36,063,061円を差し引いた当年度の単年度収支は5,148,555円の黒字となっている。

決 算 収 支 状 況

(単位:円)

年 度	会 計	歳 入 A	歳 出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
30	一般	1,255,545,633	1,214,334,017	41,211,616	0	41,211,616	36,063,061	5,148,555
	計	1,255,545,633	1,214,334,017	41,211,616	0	41,211,616	36,063,061	5,148,555
29	一般	1,221,017,449	1,184,954,388	36,063,061	0	36,063,061	49,501,634	△13,438,573
	計	1,221,017,449	1,184,954,388	36,063,061	0	36,063,061	49,501,634	△13,438,573
増 減	一般	34,528,184	29,379,629	5,148,555	0	5,148,555	△13,438,573	18,587,128
	計	34,528,184	29,379,629	5,148,555	0	5,148,555	△13,438,573	18,587,128

なお、平成30年度における主要事業は下記のとおりである。

事業名	事業の内容
元号変更に伴うシステム改修	令和元年5月から新たな元号に変更されることに伴い、人事給与システム等、各システムの改修を行った。
救急感染（新型インフルエンザ）対策	救急隊の感染防止を図るため、新型インフルエンザ対応の感染防止衣等を購入した。（平成29年3月に策定した新型インフルエンザ業務継続計画に基づく事業）
舟橋分遣所消防ポンプ自動車の購入	購入後21年が経過し、故障により使用ができなくなった舟橋分遣所の消防ポンプ自動車を更新した。
消防無線局の再免許申請	現在運用している無線局の免許について、令和元年5月末をもって有効期間が満了するため再免許の申請を行った。
消防無線局基地局の定期検査	現在運用している無線局の基地局について、法令に基づく定期検査を受けた。

6 一般会計

平成30年度の一般会計決算額は、次のとおりである。

歳入 1,255,545,633円（予算対比 99.99%）

歳出 1,214,334,017円（予算対比 96.71%）

この差引残額（形式収支）41,211,616円から、翌年度に繰り越すべき財源はなく、実質収支41,211,616円の黒字となっている。

なお、当年度実質収支41,211,616円から前年度実質収支36,063,061円を差し引いた当年度の単年度収支は5,148,555円の黒字となっている。

（1）歳入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

（単位：円）

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
30年度	1,255,657,000	1,255,545,633	1,255,545,633	0	0	100.0%	100.0%
29年度	1,219,903,000	1,221,017,449	1,221,017,449	0	0	100.1%	100.0%

① 収入状況

予算額に対する収入割合は100.0%であり、前年度収入済額と比較して34,528,184円の増となっている。

収入の主なものは、分担金及び負担金で、収入額は1,176,056,939円で全体の93.7%を占めている。以下、使用料及び手数料が2,039,250円で0.1%、県支出金が7,363,493円で0.6%、繰越金が36,063,061円で2.9%、諸収入が422,890円で0.03%、組合債が33,600,000円で2.7%となっている。

また、調定額に対する収入割合は100.0%で、収入未済額は0円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

収入状況

（単位：円）

区 分	予算額	調定額	収入済額				不納 欠損 額	収入 未済 額
			金 額	構成比 (%)	予算対 比(%)	調定対 比(%)		
1. 分担金及 び負担金	1,176,057,000	1,176,056,939	1,176,056,939	93.7	100.0	100.0	0	0
2. 使用料及 び手数料	1,212,000	2,039,250	2,039,250	0.1	168.3	100.0	0	0
3. 県支出金	7,121,000	7,363,493	7,363,493	0.6	103.4	100.0	0	0
4. 繰越金	36,064,000	36,063,061	36,063,061	2.9	100.0	100.0	0	0
5. 諸収入	203,000	422,890	422,890	0.0	208.3	100.0	0	0
6. 組合債	35,000,000	33,600,000	33,600,000	2.7	96.0	100.0	0	0
計	1,255,657,000	1,255,545,633	1,255,545,633	100.0	100.0	100.0	0	0

② 財源構成

歳入総額を使用料及び手数料、繰越金、諸収入からなる自主財源と、分担金及び負担金、県支出金、組合債からなる依存財源に分類してみると、自主財源は38,525,201円、依存財源は1,217,020,432円となっており、その構成比は、自主財源3.0%、依存財源97.0%となっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源96.5%、特定財源3.5%となっている。

第1款 分担金及び負担金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
30年度	1,176,057,000	1,176,056,939	1,176,056,939	0	0	100.0%	100.0%
29年度	1,158,921,000	1,158,920,766	1,158,920,766	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は1,176,056,939円で、歳入総額に占める割合は全体の93.7%となっており、収入済額の内訳は、組合構成市町村からの組合運営費負担金で、魚津市523,234,088円、滑川市354,900,302円、上市町256,248,137円、舟橋村41,674,412円となっている。

第2款 使用料及び手数料

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
30年度	1,212,000	2,039,250	2,039,250	0	0	168.3%	100.0%
29年度	1,618,000	1,761,950	1,761,950	0	0	108.9%	100.0%

収入済額は2,039,250円で、歳入総額に占める割合は全体の0.1%となっており、収入済額の内訳は、危険物施設設置許可検査手数料等で魚津市分482,000円、滑川市分1,095,700円、上市町分458,850円、防火管理講習修了証再交付手数料等2,700円となっている。

第3款 県支出金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
30年度	7,121,000	7,363,493	7,363,493	0	0	103.4%	100.0%
29年度	9,659,000	10,602,000	10,602,000	0	0	109.8%	100.0%

収入済額は7,363,493円で、歳入総額に占める割合は全体の0.6%となっており、収入済額の内訳は、消防防災航空隊員派遣等人件費負担金6,242,493円、消防防災航空隊員派遣助成金1,121,000円となっている。

第4款 繰越金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
30年度	36,064,000	36,063,061	36,063,061	0	0	100.0%	100.0%
29年度	49,502,000	49,501,634	49,501,634	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は36,063,061円で、歳入総額に占める割合は全体の2.9%となっており、収入済額の内訳は、平成29年度繰越金となっている。

第5款 諸収入

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
30年度	203,000	422,890	422,890	0	0	208.3%	100.0%
29年度	203,000	231,099	231,099	0	0	113.8%	100.0%

収入済額は422,890円で、歳入総額に占める割合は全体の0.03%となっており、収入済額の内訳は、共済事務等手数料105,948円、講習会場提供謝礼60,000円、気象観測謝礼32,200円、その他224,742円となっている。

第6款 組合債

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
30年度	35,000,000	33,600,000	33,600,000	0	0	96.0%	100.0%
29年度	0	0	0	0	0		

収入済額は33,600,000円で、歳入総額に占める割合は全体の2.7%となっており、収入済額の内訳は、舟橋分遣所消防ポンプ自動車整備事業（緊急防災・減災事業債）33,600,000円となっている。

(2) 歳出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
30年度	1,255,657,000	1,214,334,017	0	41,322,983	96.7%
29年度	1,219,903,000	1,184,954,388	0	34,948,612	97.1%

① 支出状況

予算額に対する執行率は96.7%であり、前年度支出済額と比較して29,379,629円の増となっている。

支出の主なものは、組合議会費718,673円、組合運営費152,596円、監査委員費57,221

円、職員給与費886,668,320円、消防本部運営費110,207,656円、魚津署運営費16,589,485円、滑川署運営費14,617,217円、上市署運営費13,944,729円、舟橋分遣所運営費3,283,585円、消防本部施設整備費34,126,752円、魚津署施設整備費2,754,000円、滑川署施設整備費1,853,712円、起債償還元金124,036,000円、起債償還利子5,324,071円である。

決算額を性質別(構成比)にみると、義務的経費では、人件費で877,741千円(72.3%)、物件費で182,042千円(15.0%)、維持補修費で1,114千円(0.1%)、扶助費で11,020千円(0.9%)、補助費等で10,303千円(0.8%)、公債費で129,360千円(10.7%)、義務的経費全体では1,211,580千円となり、決算総額の99.8%を占めている。

投資的経費では、普通建設事業費で2,754千円となり、決算総額の0.2%を占めている。

性質別経費の状況

(単位：千円)

区 分	30年度決算額	構成比
1 人件費	877,741	72.3%
2 物件費	182,042	15.0%
3 維持補修費	1,114	0.1%
4 扶助費	11,020	0.9%
5 補助費等	10,303	0.8%
6 公債費	129,360	10.7%
うち元金	124,036	10.3%
うち利子	5,324	0.4%
計	1,211,580	99.8%
7 投資的経費	2,754	0.2%
普通建設事業	2,754	0.2%
うち単独事業	2,754	0.2%
歳出合計	1,214,334	100.0%

支出状況は、次の表のとおりである

支 出 状 況

(単位：円)

区 分	予算額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	構成比 (%)	執行率 (%)		
1. 議会費	913,000	718,673	0.1%	78.7%	0	194,327
2. 総務費	344,000	209,817	0.0%	61.0%	0	134,183
3. 消防費	1,123,875,000	1,084,045,456	89.3%	96.5%	0	39,829,544
4. 公債費	129,525,000	129,360,071	10.6%	99.9%	0	164,929
5. 予備費	1,000,000	0	0.0%	0.0%	0	1,000,000
計	1,255,657,000	1,214,334,017	100.0%	96.7%	0	41,322,983

第 1 款 議会費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
30年度	913,000	718,673	0	194,327	78.7%
29年度	913,000	719,401	0	193,599	78.8%

支出済額は718,673円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっている。

不用額は194,327円で、予算額に対する執行率は78.7%となっている。

第 2 款 総務費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
30年度	344,000	209,817	0	134,183	61.0%
29年度	344,000	169,133	0	174,867	49.2%

支出済額は209,817円で、歳出総額に占める割合は全体の0.02%となっており、支出済額の内訳は、組合運営費152,596円、監査委員費57,221円となっている。

不用額は134,183円で、予算額に対する執行率は61.0%となっている。

第3款 消防費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
30年度	1,123,875,000	1,084,045,456	0	39,829,544	96.5%
29年度	1,091,934,000	1,058,431,545	0	33,502,455	96.9%

支出済額は1,084,045,456円で、歳出総額に占める割合は全体の89.3%となっており、支出済額の内訳は、職員給与費886,668,320円、消防本部運営費110,207,656円、魚津署運営費16,589,485円、滑川署運営費14,617,217円、上市署運営費13,944,729円、舟橋分遣所運営費3,283,585円、消防本部施設整備費34,126,752円、魚津署施設整備費2,754,000円、滑川署施設整備費1,853,712円となっている。

不用額は39,829,544円で、予算額に対する執行率は96.5%となっている。

第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
30年度	129,525,000	129,360,071	0	164,929	99.9%
29年度	125,712,000	125,634,309	0	77,691	99.9%

支出済額は129,360,071円で、歳出総額に占める割合は全体の10.6%となっており、支出済額の内訳は、起債償還元金124,036,000円、起債償還利子5,324,071円である。

不用額は164,929円で、予算額に対する執行率は99.9%となっている。

なお、平成31年3月末現在で、起債償還残高は元金で951,354千円となっている。

第5款 予備費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
30年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%
29年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%

平成30年度において予備費の執行は無かったため、不用額1,000,000円、執行率0.0%となっている。

7 財産管理

(1) 土地について

該当なし

(2) 建物について (平成30年度中の異動なし)

本部通信指令センター 延床面積579.01㎡
 上市消防署舟橋分遣所 延床面積273.06㎡
 天神山基地局 延床面積 5.85㎡

(3) 物品について (平成30年度中に取得した1件10万円以上)

	区 分	数量
(本部)	緊急消防援助隊用シュラフ	11
	マキタ充電式運搬車一式	1
(魚津署)	潜水用器具	4
	消防用ホース	5
	空気呼吸器用ボンベ	3
(滑川署)	消防用ホース	20
	潜水用器具	2
	空気呼吸器用ボンベ	1
	救難用ゴムボート	1
(上市署)	カラー複合機	1
	空気呼吸器用ボンベ	2
(舟橋分遣所)	ワイヤレスアンプ一式	1
	自動体外式除細動器	1
	消防用ホース	5
	消防ポンプ自動車 (CD-I型)	1

8 意見

全体として、予算の執行はおおむね適正であると認められるが、一部の事業において、予算に対し、支出額が乖離しているものが見受けられる。様々な要因があるとは思いますが、適切に予算を見込むことに加え、事業の目的を最大限に生かされるような執行に努められたい。

なお、契約事務については、引き続き適切な対応を実施されたい。

9 むすび

以上、平成30年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算審査について概要と意見を述べた。

予算の執行に際しては、関係諸帳簿等は正確に処理されており、事務事業の執行については、関係法令に準拠して適切に執行されていた。

なお、本部、各署においては、消防広域化のメリットを十分に生かされ、一層の経費削減、費用対効果を図り、合理的かつ効率的な予算執行となるよう努力されるとともに、地域住民の安全安心を守り、住みよい街づくり、住民サービスの向上に、火災・救急・救助体制の充実、強化に努められたい。